

## 様式 1

### 令和 5 年度学長戦略経費（研究プロジェクト）実績報告書（研究実績）

#### 1 研究課題名

外国語（英語）教育におけるデジタル教科書の教育効果の検証

#### 2 研究代表者

- ・北海道教育大学函館校地域教育専攻，教職大学院教授  
附属函館小学校長 橋本忠和（申請時から 2023. 9. 30 まで）

（橋本教授が 2023. 9. 30 付退職により 2023. 10. 01 から）

- ・北海道教育大学函館校地域教育専攻 准教授 石森広美

#### 3 研究分担者・研究協力者

（研究分担者）

- ・杉本任士教職大学院教授（教育効果分析）・石井洋准教授（算数・ICT）

（研究協力者）

- ・中村吉秀教職大学院教授・附属中学校長
- ・永澤篤教職大学院教授・附属小学校長
- ・新田英樹附属函館小学校副校長・黒田諭附属函館中学校副校長
- ・鈴木悠太附属函館小学校教諭（教職大学院函館校修了生）
- ・附属函館小学校外国語担当教諭
- ・匂坂卓雄附属函館中学校教諭・佐々木ちひろ附属函館中学校教諭（英語科）
- ・山口好和准教授（ITC 教育）
- ・鈴木淳学校臨床教授（算数）

#### 4 令和 5 年度研究計画の達成度

（以下の項目□に 1 つチェック☑を入れてください。）

- a 計画とおり達成した
- b 概ね達成した
- c あまり達成できなかった
- d 全く達成できなかった

【c 又は d を選択した場合の理由や問題点】

研究代表者の退職に伴う引継ぎ、および計画時に予定していた研究協力者（附属小学校・中学校）の転勤があり、引継ぎや計画の共有に時間がかかったため。

## 5 学術的成果

### 【論文投稿】

- 石森広美「「相手意識」を高める小学校外国語教育の授業と指導法の工夫：異校種交流に着目して」北海道教育大学紀要教育臨床研究編第 74 巻第 2 号、令和 6 年 1 月、45-50 頁。
- 石森広美「小学校英語教科書における異文化理解の表出に関する批判的検討」グローバル教育学会『グローバル教育』26、令和 6 年 3 月、55-67 頁（印刷中）

### 【書籍出版】

（今年度公表分、予定含む。書名、著者、出版社、発行年等。）※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

### 【学会発表】

（今年度公表分、予定含む。学会名、開催年月日、開催場所、発表者名、発表タイトル等。）※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

### 【その他】

（今年度公表分、予定含む。）※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

## 6 実践的成果

### 【教材】

(今年度公表分、予定含む。教材名、公表日、配布方法、配布先、配布数、外部評価等。) ※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

### 【評価方法】

(授業評価、学力の評価等。今年度公表分、予定含む。評価名、公表日、配布方法、配布先、配布数、外部からの反応等。) ※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

### 【指導（授業）案】

(今年度公表分、予定含む。名称、公表日、配布方法、配布先、配布数、外部評価等。) ※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

附属函館中学校英語科 佐々木ちひろ教諭「カンボジア・バタンバン教育大学附属中学校との ICT ツールを用いた英語オンライン交流」についての指導案 (2024年6月学校教育学会函館『学校教育学会誌』にて石森との共著論文において公表予定)

### 【教育方法】

(今年度公表分、予定含む。名称、公表日、配布方法、配布先、配布数、実践例等。) ※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

### 【その他】

(普及啓発イベント、セミナー、研修会等。今年度開催分。名称、開催年月日、

開催場所、開催方法、参加者数、アンケート結果等) ※中間報告でご報告いただいたものについては、記載の必要はありません。

- ① 附属函館中学校 英語科教諭 佐々木ちひろ 実践発表  
12/2(土)第36回小樽商科大学教職研究会(小樽商科大学)
- ② 附属函館中学校 英語科教諭 佐々木ちひろ 実践発表  
2/3(土)第2回「GIGA×AI探求セミナー」(公立ほこだて未来大学)

- ◆上記の学術的・実践的成果のうち、ホームページ等で公開できる資料がありましたら、メール添付又は学内便で送付してください。
- ◆ホームページのポンチを更新するときは、新しいポンチ絵(パワポファイル)をメールで送信してください。
- ◆プロジェクトで報告する学術的・実践的成果は幅広く捉えて記入してください。

## 7 その他、研究実施状況

- 月1回ほどのプロジェクトコアメンバー・ミーティング
- 令和5年7月北海道教育大学附属函館小学校外国語授業見学(石森広美)
- 令和5年9月北海道教育大学附属函館小学校外国語授業見学(石森広美)
- 令和5年9月北海道教育大学附属函館中学校外国語授業見学(石森広美)
- 令和5年8月日本デジタル教科書学会第12回年次大会(信州大学)に参加・情報収集(石井洋)(8/19-8/20)
- 令和5年12月後藤理事・井上リサーチアドバイザーと研究についての打ち合わせ(12月11日函館校にて)(石森広美・杉本任士)
- 令和5年12月附属函館中学校英語教員 匂坂教諭・佐々木教諭への英語授業におけるICT活用についてのインタビュー(石森広美・杉本任士)
- 令和6年2月北海道教育大学附属函館中学校匂坂教諭 ICT活用外国語授業見学(石森広美)
- 令和6年3月 北海道教育大学附属函館中学校佐々木教諭とカンボジア・バタンバン教育大学附属中学校 Thy 教諭、函館校石森とのオンライン意見交換(ICTを活用した異文化交流についての振り返り)

○今回の実績報告書(内容)は本学のホームページで公開されます。(報告書の体裁は事務で修正することがあります。青字と赤字の斜字体は削除します。)

○ページ数は2ページ以上になっても構いません。枠は適宜拡大してください。